

アイリスLetter



2015年5月29日発行
第2号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

5月9日、今年度初めての全体行事となる体育大会が大学グラウンドで行われました。早朝から雨に見舞われましたが、大会は決行。続行が危ぶまれる部分もありましたが、最終的には明るい太陽と生徒の大歓声のうちに成功裡に無事終了しました。悪天候の中、今年も寿老園の老人の皆様が（お体にさわらないかと心配しましたが）、生徒たちの熱い戦いぶりや演技を大変喜んで帰られました。生徒達の一生懸命競技に取り組む姿は、見る全ての者に確かに元気を与えてくれたと感じました。保護者の皆様方には交通の不便な場所にも拘わらず、多数ご来場・応援頂き感謝しております。毎年多数のお申し込みを頂きながら、駐車場を十分に用意できずご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

ところで、体育大会が終わりますといつも思い出す光景があり、生徒にも時々、礼拝などで話をすることがあります。もう、20年以上も前のことです。体育大会が終わり、1か月ほど経った頃、大会当日のグラウンドの新緑のさわやかさが恋しくなり、一人で大学のグラウンドに行きました。梅雨の雨にぬれた広々としたグラウンドに、カラスが降り立ち、一生懸命に何かをついばんでいます。それは、植物で、よく見ると円を描くように新芽のかたまりが、グラウンドの5か所に広がっています。その不自然な生え方と、いつもは大変乾燥したグラウンドに、なぜ、こんな情景が広がっているのか不思議に思い、草の一つを引き抜いてみました。それは発芽した豆でした。皮の色は赤茶色。一目見て小豆（あずき）であることが分かり、しばらく考えた後、ハッと謎が解けました。体育大会での玉入れ競技の玉のいくつかが競技中に破れ、中の小豆が飛び散り、長雨で発芽した結果でした。（当時玉入れに参加する生徒は、各家庭で米粒や豆などを入れ、それぞれのチーム色の布で包んだお手玉のような玉を、数個持参することが決められていました。）まさか、体育大会を終えたグラウンドで、そんな事態が進行しているなど想像もしていませんでしたから、とても強く印象に残りました。

このことに関連して、旧約聖書のコヘレトの言葉が思い浮かびました。「あなたのパンを水の上に浮かべて流すがよい。月日が経ってから、それを見いだすだろう。」〔コヘレト（伝道者）の言葉 11章1節〕人の意図しない行為が、後になって思わぬ結果を生み出す不思議。玉入れの玉を縫っていた親御さんは、まさかこれが、グラウンドで芽を吹いて、カラスを養うようになるとは、想像していなかったでしょう。これは、因果の話ではなく、パンが投げられた、というところが大事なのでしょう。命を養うもの、または、命を宿したものが蒔かれたとき、やがてそれは、色々な経過を経て、どこかで再び生命を表すようになる。

広島女学院は、約2000年前に、神様によって蒔かれたイエスの救いの種が、創立者砂本先生やゲーンズ先生の胸の中で、命をよみがえらせた事によって創立された学校です。その様に、学校における毎日の教育の業も、将来、生徒たちがおかれるどこかで、本人や周囲の人々に命を分け合い、生かし合うための種であることが出来たら、素晴らしいと思います。

さて、先日、PTA総会が皆様のご協力の内に無事終了し、福戸山PTA会長を初めとする新しい体制が整いました。皆様と共に、今年度も生徒たちの成長を見守りつつ、協力しながら歩んで参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また末筆になりましたが、バザー収益金による音楽室ピアノのご寄贈に対し、心からお礼を申し上げます。

聖書の言葉

「あなたのパンを水の上に浮かべて流すがよい。月日が経ってから、それを見いだすだろう。」

コヘレト（伝道者）の言葉11章1節
（校長）

2015 年度体育大会

今年度の体育大会は小雨が降り、少し肌寒さを感じる中で行われました。しかし、そんな状況でも生徒たちは、入場行進、開会式ととても引き締まった良い雰囲気を作りあげてくれました。そんな生徒の思いに後押しされたのか、競技を開始する頃には雨もあがりはじめ、午後には太陽の日差しが気になるくらいの晴天に変わりました。

競技は「100m走」から始まり、5色対抗で行われる「足並みそろえて」や「パン食い競争」、中1の学年種目である「台風の目」など、どの競技も生徒たちは一生懸命に楽しそうに競技していました。また、高3にとっては、最後の体育大会。担任の先生と競技した「むかで競争」はどうでしたか。競技するものだけでなく、みんなでリズムを合わせ、クラスが一体となって競技できたのではないのでしょうか。そして、着せ付けは競技の早さを競うだけでなく、できあがりの良さもしっかり考えていて、どのクラスも丁寧に仕上げていましたね。その後のお披露目では、会場中が笑顔に包まれました。さらに各学年対抗の「クラス対抗リレー」や体育大会最後の種目である「五色対抗リレー」は毎年のように手に汗握る瞬間で応援にも熱が入っていました。このように生徒たちは普段の授業とは違う表情をみせながら楽しく競技できました。

最後に、今年の体育大会も体育委員中心に各係や PTA の皆様のご協力もあり、無事に終わることができました。感謝です。

なお総合優勝は黄組、準優勝は赤組、応援合戦は金賞は青組、銀賞は白組でした。

(体育科)

高1 進路合宿

4月22日から23日にかけて、高1はグリーンピア瀬戸内で進路合宿を実施しました。

合宿の目的は「進路について考える」です。生徒たちはスタディーサポートの結果を受けとり、自分史を読み返し、保護者からの手紙を読み、先生の話聞き、最後に一人ひとりがクラスメイトの前で自分の思いを語りました。特に保護者からの手紙は、何か自分が変わるきっかけを作ったようで、雰囲気も一転しました。自分と真剣に向き合い、笑い感動の涙に包まれた2日間、本当に中身の濃い時間を過ごすことができました。

(高1 学年会)

中1 学年合宿

4月23、24日に中1の学年合宿が行われました。1日目の最初にホールで開会礼拝。校母ゲーンズ先生についてのお話を聞いて、比治山にあるゲーンズ先生のお墓へ行き、各クラスで、「墓前礼拝」をしました。墓前礼拝では、ゲーンズ先生の愛唱歌の讚美歌294番を歌い、献花をし、お祈りを捧げました。その後、バスで移動し、呉市安浦町のグリーンピアせとうちへ到着。良い天気の中、野外で「同級生インタビュー」を行い、クラスの仲間といろいろ話す機会となりました。夕拝は、照明を落とし、キャンドルをたくさん舞台に並べてキャンドルサービスを行いました。キャンドルの美しさはとても感動的でした。2日目も、プチ讚美歌コンクール、長縄大会、バーベキューと楽しい行事が目白押し。両日とも天候に恵まれ、クラスの親睦が深まりました。

(中1 合宿係)

生徒会活動 (中学)

新しい学年になり、今年度も各クラスで委員会役員を選出し、新しいメンバーでの生徒会活動が始まりました。各委員会の今年の年間目標を紹介します。

五人委員会 責任をもって5人で協力して、新たな試みに挑戦します。そして学校を楽しい雰囲気にして、生徒の皆さんにHappyをお届けします。

評議会 よりよい学校生活を送りたい。そうだ。意見を言おう。

礼拝委員 1. 心の糧となる礼拝をめざそう！
2. 年間のキリスト教行事を心に残るものにしよう！
3. 隣人のための奉仕活動に積極的に参加してもらおう！

美化委員会 Let's Clean そうだ！掃除をしよう！

保健委員会 規則正しい生活を送り、ハンカチ・ティッシュを持ち歩いて、免疫力 & 女子力 up!!

図書委員会 楽しい企画と快適な場所で、みんなが集まる図書館を作る。

体育委員会 やる気持ち 臨機応変 全力で いつも楽しく 体育委員。

選挙管理委員会 せんさいに速く、きょうりよくして、楽しく自分の仕事を最後までやり切る。

各委員の目標達成に向けて、皆さまの協力をお願いします。

(中学生徒会顧問)

生徒会活動 (高校)

高校生徒会執行委員会では、今年度も4月18日(土)あしなが学生募金のボランティアに参加しました。60名以上もの多くの応募で抽選により30名になりましたが、参加して下さった皆さん、ありがとうございます。最初は恥ずかしそうでしたが、募金をして下さる方の励ましを頂きながら、大きな声で募金を呼びかけられるようになり、この活動の意義を感じ大切さを学んだようです。

体育大会では、執行委員会主催のもと、応援団がすばらしい演技を披露して、華を添えてくれました。2週間という短い練習期間でしたが、年間テーマ「和・輪・〇」を取り入れた衣装・振り付けなどそれぞれ独自に工夫を凝らしていました。結果は、金賞-青組、銀賞-白組。

次の大きな行事は、中高合同の文化祭です。実り多いものになるように準備していきましょう。

(高校生徒会顧問)

高校演劇部春の公演

高校演劇部は西田大輔作「FANTASISTA」を4月25日(土)の午後に上演しました。

ある事件により命を落としてしまった男。彼は神との交渉の末、恋人のために生まれ変わることを決意します。男は随天使となって地上に降り立ち、神に課せられた条件を満たすため奔走します。当初生まれ変わりを望んでいた男ですが、最後は恋人の幸せを願い、自ら転生の選択肢を捨てて身をひきます。登場人物全員の想いが交錯するなかで、誰かを誠実に、ひたむきに想う心の強さというものに気づける作品でした。

今回の公演は、部員それぞれが自らの持ち味を発揮して創り上げたものでありました。学年を越えて意見を交換しながら1シーンごとに丁寧に創り上げていきました。「公演当日の出来が今までで最も良かった！」と部員の口から聞いたことが何よりも喜ばしいことでした。引退する高3生にとって、終わりにふさわしい公演となったと思います。観客の皆さまのあたたかいまなざしも大きな助けとなりました。本当にありがとうございます。次回の文化祭公演も、部員全員が満足できるものになるよう部員、顧問共々精進いたします。

(高校演劇部顧問)

吹奏楽部第 28 回定期演奏会

中高吹奏楽部は、4月29日(水・祝)にゲーンホールにて第28回定期演奏会を開催致しました。今年は3部構成になっており、第1部が吹奏楽オリジナル曲ステージ、第2部がポップスステージ、第3部がシンフォニックステージでした。第2部ポップスステージでは、演奏だけでなく、踊りや合唱など、新たなパフォーマンスにも挑戦しました。沢山の皆さんに足を運んで頂き、部員一同感謝しております。

この演奏会を開催するにあたって、これまで支えてくださった皆様に感謝申し上げますと共に、これからも吹奏楽部をお支えくださるようお願い申し上げます。



(吹奏楽部顧問)

中高マンドリンクラブ第35回定期演奏会

4月26日(日)にマンドリンクラブでは第35回定期演奏会を催しました。

第1部では昨年秋から練習してきた「歌劇『仮面』序曲」、「シエナ組曲」を含め3曲、第2部では高校生13名によるアンサンブル、第3部では5楽章からなる「オーロラ組曲」を含め、2曲演奏しました。中でも第3部の「オーロラ組曲」は難曲で、各楽章表現するのに苦労しましたが一生懸命取り組みました。今年も遠方から駆けつけてくださるお客様も多く、曲のすばらしさを少しでも知っていただけたなら嬉しく思います。聴きにきてくださった方々に、心から感謝申し上げます。

次は7月27、28日の全国高等学校ギタ

ー・マンドリン音楽コンクールに向けて、精一杯頑張りますので、今後ともご支援の程よろしくお願いたします。



(中高マンドリン部顧問)

NPT(核不拡散条約)再検討会議に 本校高校生が派遣されました!

NPT再検討会議とは1970年に締結された条約を5年ごとに点検する国際会議で、ニューヨークにある国連本部で実施されます。広島女学院では1945年の原爆投下により330人以上の教職員を失ったことから、このような悲劇を繰り返さないために不断の努力を重ねています。その一つに2008年から始まった核廃絶のための署名キャンペーンがあります。生徒が街頭に立って集めた署名は広島市長に託され、この再検討会議に参加する市長が持って行って下さり、国連本部にある「署名タワー」というモニメントに加えられます。

昨年度、本校の生徒2名を含む8名の高校生が再検討会議で平和を希求する声を直接届け、高校生の活動について知ってもらうため、ニューヨークに派遣されました。今年度は本校生徒4名を含む10人の高校生(盈進、沖縄尚学、修道、女学院)が派遣されました。

数か月に及ぶ準備を経てニューヨークを訪れた生徒たち。初日は、入場許可証発行のために早朝から国連本部の前に並びました。とても寒い朝でしたが、世界各国の国旗が掲げられた国連本部を目の前にすると緊張しつつも大興奮でした。許可証が無事

に発行され、まず最初に向かったのは、テレビでよく見かける本会議場でした。ほとんど一番乗りでしたが、ほどなく各国の政府代表の人々が入り、「国際会議」がまさに目の前で始まろうとしている現実が広がっていました。

そのような雰囲気にはしっかりとひたる間もなく、本校の生徒4人は「ヒロシマ・ナガサキ・アピール」という集会において高校生の取り組みを紹介するプレゼンテーションを披露しました。このアピール集会には日本の外務大臣、長崎・広島両市長、国連軍縮部次席代表などの要人の方々も出席しておられ、とても緊張しましたが充実したプレゼンテーションの時間となりました。

国連本部ロビーでは会議の期間中、「ヒロシマ・ナガサキ展示」が実施されており、そこでは原爆投下を命じたトルーマン大統領のお孫さんであるクリフトン・トルーマン・ダニエルさんにお会いしました。彼は2年前に本校を訪問されましたが、現在も国内外で「赦しと和解」についての活動を展開しています。

先ほど述べた国連軍縮部次席代表であるヴァージニア・ガンバさんに直接お目にかかる機会を頂きました。代表生徒のスピーチに熱心に耳を傾けて下さるだけでなく、自分たちの活動を今後も続けてほしいこと、また将来もそのような分野で活躍してほしいなど激励の言葉も頂きました。

「平和首長会議」が主催する「ユース・フォーラム」は今回の派遣の目的の大きなひとつでした。このイベントにおいて高校生の活動を発表するために数カ月準備を重ねてただけあって、内容はとても高い評価を得ました。また発表後は多くのメディアからインタビューを受ける機会もありました。

地元の高校生とも交流することもできました。スタイベサント高校は、ニューヨー

クはもとより全米で有名な公立の進学校です。昨年に続き今年も訪問して、プレゼンテーションをしたあと、署名協力の呼びかけをしました。多くの生徒が今年も署名をしてくれました。

6泊8日の短い研修でしたが、生涯忘れられない経験となったことでしょう。参加生徒が今後もそれぞれに平和を創り出す活動を続け、世界がよりよい場所になるための努力を惜しまないことを願ってやみません。

(グローバル教育推進部)

PTA総会

2015年度のPTA総会が5月23日(土)に行われました。この日は、授業参観日でもあったので、朝のホール礼拝(土曜日は中学の礼拝)から参加される保護者も多く、中学の各教室の授業では、熱心な参観が行われました。

総会は、11時から始まりました。まず、昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。そして、昨年度のバザー収益金からグランドピアノを寄贈していただけたとの報告がありました。ピアノは、アイリスセンター2階の音楽室2に夏休み中に入ります。秋には、生徒によるピアノ開きコンサートが計画されています。音楽室のピアノは、古くなっていましたので大変うれしいプレゼントです。ありがとうございます。

また、維持会問題について、昨年からの動きが藤本理事長より報告され、生徒、保護者の皆様に心配をお掛けしていることについて、お詫びがありました。

昨年度役員の皆様、労を惜しまずPTA活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。新年度の役員を引き受けてくださった皆様、ご多忙な中をありがとうございます。1年間どうぞよろしく願いいたします。

保健室だより (2)

予定されていた3回にわたる尿検査は終了しましたが、未受診の方のために、6月2日(火)にもう一度尿検査を実施することとなりました。未提出の方は、このチャンスを逃さないようにしてください。内科検診や耳鼻科・眼科・歯科検診は、6月18日の午後に予定されています。必ず受けるようにしましょう。

本校では、随時、異常が見つかった人のみに、手紙で結果をお知らせしています。また、1学期終了時には、すべてのデータがそろった健康診断個人表をお返しします。これらの情報をうまく活用して、何か異常がみつかったら、病院を受診し、治療方針をたてていただきますよう。

また、天候がぐずれやすく、心身の状態もぐずれがちですが、それに負けないように、食事、睡眠、休息をうまくとりながら、工夫していきましょう。

朝食を食べる時間がなかったら、水分だけでも家でとってくる、時間がなくても何か口に入れて登校する。1週間に1日は、しっかり遊ぶ、自然にふれてみる、など少し日常から離れる時間を持ち、自分を休ませてあげることも大切です。

(保健室)



心の健康 (2)

6月は梅雨で空気がジメジメし、気持ちも沈みがちです。最近、ぐっすりと眠れていますか。

眠りは、一晩に「深い時」と「浅い時」を繰り返しています。深い眠りから浅い眠りに移るのは、眠っているながら、起きている時の記憶を整理しているらしいのです。そのおかげで、起きている時の脳の働きが

段々深くなり、再び浅くなるまでのサイクルは約90分で、寝ている間に、このサイクルが4回ほどあるのが良いそうです。

ストレスが解消し、心身ともに健康な生活を送るためには、一晩に90分×4サイクル=6時間。サイクルを考えながら、1日6時間はきっちり眠りましょう。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学バレーボール部

*平成27年度広島市中学校バレーボール選手権中区大会 3位

◇中学卓球部

*平成27年度広島市中学校卓球選手権中・南区大会

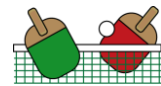
【団体】

2位 卓球女子団体A

2位 卓球女子団体B

【個人】

市大会に5名進出



《高校》

◇高校水泳部

*広島地区春季水泳競技大会

【団体種目】

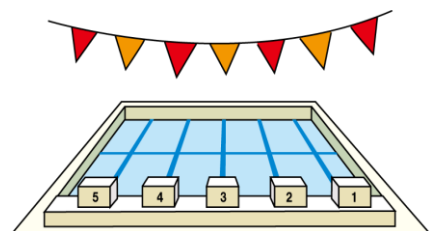
400mフリーリレー 8位

400mメドレーリレー 8位

【個人種目】

K・N(2-E) 200m背泳ぎ 7位

K・N(2-E) 100m背泳ぎ 8位



今月の聖句

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで
す。神は真実な方です。あなたがたを耐え
られないような試練に遭わせることはなさ
らず、試練と共に、それに耐えられるよう、
逃れる道をも備えていてくださいます。

コリントの信徒への手紙一 10章13節

星野校長先生が中学放送礼拝で紹介され
た山下弘子さんは、女学院と同じキリスト
教学校である大阪女学院の出身で、20歳
誕生日の1か月前に癌で余命半年の宣告を
受けました。幸い奇跡的に手術が成功しま
しましたが、その後も再発・転移と闘ってい
ます。彼女が母校の高3に語ったメッセー
ジの一部を紹介します。

すべてのことに意味はあると思います。
人生の中で無駄なことはひとつもないと思
います。……神様に対して、なぜこんな試
練を私に与えたのか!と、うらむのではな
く、そこにきっと何か意味がある、今はま
だわからないけれども、いつか将来役に立
つと受け取り、神様の導きがないか、考え
ましょう。逃げるのではなく、苦しみとも
向きあっていきましょう。その苦しみによ
って私たちは成長すると思います。

……(大阪)女学院は高校からでしたが、
最初はいやいやながらでした。実家は完全
なる仏教でしたし、なぜ女子高にこなけれ
ばならないのだろうか、本当にいやでし
た。けれど、(大阪)女学院でみっちり3年
間聖書について学んだからこそ、今の私の
考えがあります。……無駄だと思っていた
聖書も卒業してからどれほど役に立ったか
しれません。

(聖書科 T. M)

6月行事予定表

1	月	夏服更衣 教育実習(6月20日(土)まで)
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	県総体 英語検定
7	日	
8	月	
9	火	面接週間(40分授業)
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	おさんぽ女学院 高3模試(進研マーク) リーダープレキャン
14	日	
15	月	平和を祈る週
16	火	
17	水	
18	木	第2次スクリーニング 午後 授業なし
19	金	
20	土	45分授業 1限8:40~ 平和を祈る週 特別礼拝
21	日	
22	月	
23	火	水曜授業
24	水	土曜授業 40分授業 1限8:40~ 午後 観賞行事
25	木	
26	金	参観日
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	

体育大会 (5月9日)

